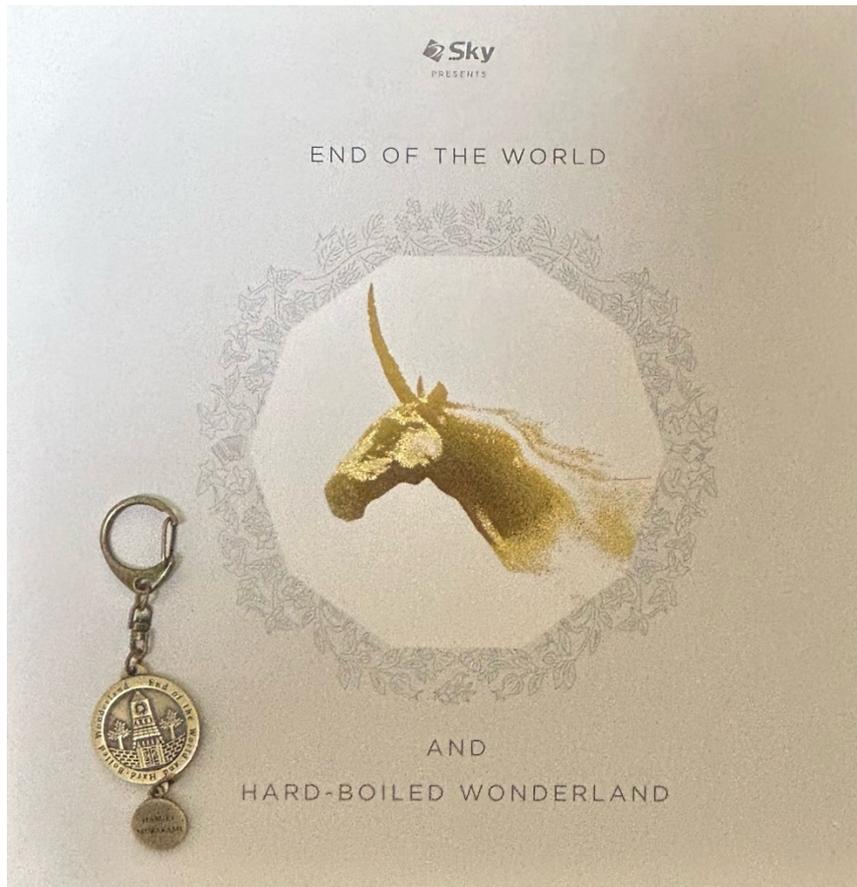


村上春樹とアダプテーション研究



(舞台「世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド」プログラム+キーホルダー)

vol.4
2026.3

【目次】

【論文】

- ・内田康 : 再編成されるパートナーシップ
—アニメーション映画『めくらやなぎと眠る女』について— …3
- ・関氷氷、楊炳菁 : <回転木馬>という反復構造を断ち切る決断
—村上春樹短編小説「ハンティング・ナイフ」論— …18
- ・山根由美恵 : 村上春樹「青が消える (Losing Blue)」論
—「豊穡な読み」へ繋げるものとしての「アイデンティティ」解釈— …35

【研究ノート】

- ・阿部翔太 : 「村上春樹と佐々木マキ」についての覚書
—「ノンセンス」という視座をめぐって— …50
- ・山田栄官 : 河合俊雄著『謎とき村上春樹—「夢分析」から見える物語の世界—』解説
…61

【書評】

- ・山根由美恵 : 藤城孝輔著『村上シネマ—村上春樹と映画アダプテーション—』 …77
- ・山田栄官 : 坂口周著『「世界」文学論序説—日本近現代の文学的変容—』 …80
- ・ダルミ・カタリン : 河合俊雄著『村上春樹と出会うころ』 …85
- ・錦咲やか : 仁平千香子著『読めない人のための村上春樹入門』 …89

【編集後記】

…93

【編集後記】

『村上春樹とアダプテーション研究』Vol4をお届けします。本号は3本の論文、2本の研究ノート、4本の書評で構成しました。

2025年度は科学研究費を獲得できなかったものの、Zoom研究会を11回開催し（ありがたいことに発表者が途切れなかった）、機関誌も無事に刊行することができ、安堵しています。「論文」は内田氏のアダプテーション分析（アニメ映画「めくらやなぎと眠る女」）、楊・関氏のテキスト分析（「ハンティング・ナイフ」）、山根の国語教育に関わるテキスト分析（「青が消える（Losing Blue）」）といったように異なった視点からの論考を掲載することができました。「研究ノート」も、阿部氏の村上と佐々木マキに関するアダプテーション分析とともに、村上関連著書である河合俊雄『謎とき村上春樹―「夢分析」から見える物語の世界―』に関する精緻な解説の掲載を行いました。書籍を読んだ気になることが多い編集者は、こういった精読の姿勢は背筋を伸ばされることが多いです。前号に引き続き、村上アダプテーション研究の底上げのみならず総合的な研究を行なえたのではないかと考えております。

書評に関しては、村上に関する研究書や新書を4冊取り上げました。坂口周『「世界」文学論序説―日本近現代の文学的変容―』（山田）は編集者も他の雑誌で書評を発表しましたが、村上研究のみならず、日本近現代文学研究においても特に注目された大著であり、本誌でも紹介できて安堵しています。また、藤城孝輔『村上シネマ―村上春樹と映画アダプテーション―』（山根）は、本研究会の誇る気鋭の研究者藤城氏の第一著書であり、村上研究に関心がある方は必読の書と思われます。河合俊雄『村上春樹と出会うところ』（ダルミ）、仁平千香子『読めない人のための村上春樹入門』（錦）の書評では長所とともに疑問点等もしっかり述べている真摯な姿勢の書評となっています。

なお、本誌の投稿には制限を設けてはいませんので、投稿希望の方はご連絡いただくと幸いです。

（山根 由美恵）

『村上春樹とアダプテーション研究』4号

発行日 2026年3月18日

発行者 村上春樹とアダプテーション研究会

連絡先 〒753-8513 山口県山口市吉田1677-1

山口大学教育学部 山根由美恵研究室内

yumie@yamaguchi-u.ac.jp

ウェブサイト

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~haruki-adapt/>